

1. 製品及び会社情報

製品名 ポンソーS染色液
会社名 株式会社ファーマフーズ
住所 〒615-8245 京都市西京区御陵大原1番地49

〈緊急連絡先〉 月曜～金曜、午前9時～午後5時
担当部署 バイオメディカル部アプロサイエンスグループ
住所 徳島県徳島市南末広町4-53 エコービル4階
電話番号 088-678-6372
FAX番号 088-678-6373
作成日 2022年4月1日

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性 有害性 酢酸が皮膚に触れると、重い火傷を起こす。
薄い溶液でも、繰り返し接触すると、皮膚を侵す。
高濃度の蒸気は、粘膜を侵し、結膜炎、気管支炎を起こす。
歯牙酸食を起こすことがある。

環境影響 水生生物に対して若干有害である。

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物
化学名 (1)ポンソーS、(2)酢酸
成分及び含有量 (1)1%以下、(2)5%
化学式又は構造式 (1)C22H12N4Na4O13S4、(2)CH3COOH
官報公示整理番号 (1)なし、(2)2-688
CAS No. (1)6226-79-5、(2)64-19-7
国連分類 クラス8(腐食性物質)等級II
国連番号 該当せず

4. 応急措置

目に入った場合 直ちに清浄な流水で15分以上洗浄し、眼科医の手当を受ける。
皮膚に付着した場合 多量の水および石鹼で洗い流す。症状がでた場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。
吸入した場合 新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、医師の手当てを受ける。体を毛布などでおい、保温して安静を保つ。
飲み込んだ場合 口をすすぎ、大量の水で薄める。
もし意識のない場合は、水を与えたり、吐かせたりしてはならない。
医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火方法 燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
初期消火では、水噴霧・消火器にて消火する。
消火活動は、可能な限り風上から行う。

消火剤 水、粉末、泡、炭酸ガス、乾燥砂 等

6. 漏出時の措置

作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して風下の人を退避される。こぼれた場所はすべりやすいために注意する。
その後、残りは多量の水で洗い流す。その際、下水、公共用水域へ流出させないように注意する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業する。
保管 密閉して直射日光を避け冷暗所に保管する。
ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。

8. 暴露防止措置

管理濃度 設定なし。
許容濃度 日本産業衛生学会(1994年度版) 10ppm;25mg/m³
ACGIH(1992~1993年度版) TWA 10ppm;25mg/m³
STEL 15ppm;37mg/m³

設備対策

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、発生源の密閉化または局所排気装置を設置し、取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

保護眼鏡、ゴム手袋、防護マスク、長袖作業衣

9. 物理的・化学的性質	
外観形状特性	無色液体、強烈な刺激臭
蒸気圧	21hPa(25°C)
融点	16.6°C
沸点	118.5°C
揮発性	なし
比重	1.05(20°C)
溶解度	水 自由に混合 その他 アルコール、グリセリンと自由に混合
10. 安定性・反応性	
引火点	39°C
可燃性	引火性の液体である。
爆発限界	上限 19.9 vol% 下限 4.0 vol%
発火点	463°C
発火性	引火点以上に加熱した場合、着火源があれば燃焼する。
安定性・反応性	多くの金属を腐食し、可燃性ガス(水素)を発生することがある。
自己反応性・爆発性	蒸気は空気と爆発性の混合気体を生じる。
酸化性	データなし
その他	燃焼により有毒ガスを発生する。 空気より重い蒸気の為、かなり遠方まで床面に沿って広がり、 引火爆発する可能性がある。
11. 有害性情報	
皮膚腐食性	ラット 525 mg open Severe
眼に対する刺激性	ラット 50 µg Severe
感作性	データなし
急性毒性	LD50(経口) ラット 3,310 mg/kg ウサギ、直腸 120 mg/animal(3%,40ml)2~3時間で死亡。 全身作用はこれまで認められていない。 モルモットによる皮膚実験では、酢酸濃度が5~10%以上、 50%以下では比較的軽度、50~80%で中等度、80%以上では 激しい薬傷が認められる。
がん原性	OSHA × NTP ×
生殖毒性	データなし
催奇形性	データなし
12. 環境影響情報	
分解性	分解しやすい。
蓄積性	魚体濃縮性;低い。
魚毒性	水生生物 TLM96;100ppm
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	排水溝には絶対に流さないこと。 少量ずつ焼却炉で焼却処理を行う。あるいはアルカリで中和した後、大量の水 と共に下水に流す。
14. 輸送上の注意	
国連番号	非該当
国連分類	クラス8(腐食性物質)等級II
海洋汚染物質	非該当
注意事項	アルカリ及び酸化剤とは混載しない。 容器の破損、漏れが無いことを確かめ、衝撃・転倒・落下・破損の無いように積み 込み、荷くずれ防止を確実にを行う。 該当法規に従って取扱、包装、表示、運送を行うこと。 (国、都道府県並びにその地方の法規、条令に従うこと。)
15. 適用法令	
消防法	第4類第2石油類 水溶性液体(2,000 l)
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	施行令別表1危険物(引火性のもの)
船舶安全法(危規則)	施行規則第12条危険物(腐食性物質)
航空法	施行規則第194条危険物告示別表第11腐食性物質
海洋汚染防止法	施行令別表1有害液体物質(D類)
化学物質管理促進法	非該当

参考文献

- 化学物質管理促進法PRTR・MSDS対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法MSDS対象物質全データ 化学工業日報社(2000)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共同出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
中央労働災害防止協会編

- * 本データシートは試薬としての一般的な取扱いを前提に記載しており、試薬以外での取扱いや大量の取扱いに関しては考慮されていないことがあります。
- * 本データシートはすべての情報を網羅しているものではありません。
- * 本データシートの内容は追加又は訂正されることがあります。
- * 本データシートは安全な取扱いを確保するための参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
- * 特殊条件下で使用するときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。